

**史料** 『青鞆』<sup>せいとう</sup> 発刊に際して (1911年)

元始、女性は実に太陽であった。真正の人であった。今、女性は月である。他に依<sup>よ</sup>って生き、他の光によって輝く、病人のやうな蒼白<sup>さく</sup>い顔の月<sup>うぶごえ</sup>である。偕<sup>さ</sup>てここに「青鞆」は初声を上げた。現代の日本の女性の頭脳と手によって始めて出来た「青鞆」は初声を上げた。 (『青鞆』)

『青鞆』創刊号, 1911年